

コメント

1. 水痘

定点当り4.21人と増加しています。安芸区9.5人、佐伯区7.3人と特に多く、東区5.3人、中区4.7人となっています。

2. 感染性胃腸炎

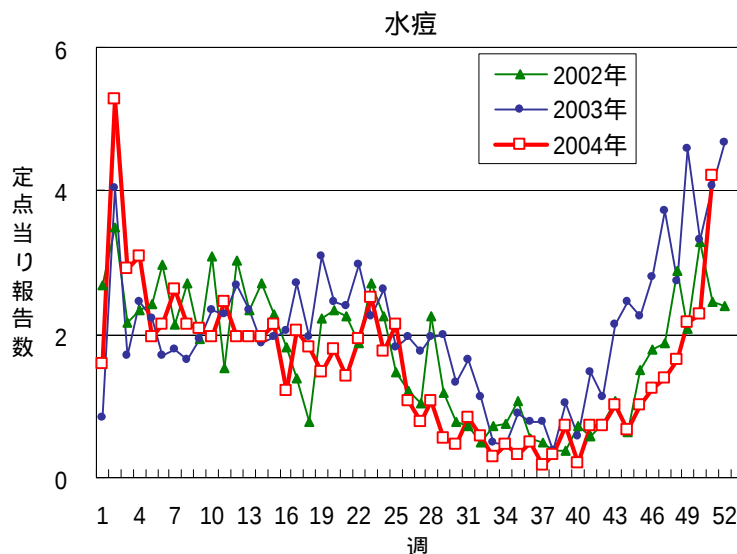
定点当り17.1人とやや増加しています。安芸区27.0人、西区20.7人と特に多く、その他の区でも10人以上と多くなっています。

3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.42人とやや増加しています。東区4.3人と特に多く、佐伯区3.7人、安芸区2.5人となっています。

4. 流行性耳下腺炎

定点当り1.38人とやや増加しています。佐伯区では3.0人となっています。



5類感染症報告状況(定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	2	0.05	4.49		麻疹(注3)	-	-	-	
咽頭結膜熱	5	0.21	0.18		流行性耳下腺炎	33	1.38	1.04	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	34	1.42	1.58		RSウイルス感染症	34	1.42		
感染性胃腸炎	410	17.08	19.34		急性出血性結膜炎	-	-	0.13	
水痘	101	4.21	3.04		流行性角結膜炎	8	1.00	1.41	
手足口病	8	0.33	0.47		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	2	0.08	0.19		無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
突発性麻疹	21	0.88	0.80		マイコプラズマ肺炎	5	0.71	0.14	
百日咳	5	0.21	0.01		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	1	0.04	0.03						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去4年間の同時期平均(定点当り)
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況(全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
4	つつが虫病	1	6	女性(50歳代)
5	後天性免疫不全症候群	2	22	男性(20歳代)・無症候性キャリア、男性(30歳代)・無症候性キャリア

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

			インフルエンザ (注1)	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん	
報告数	広島市	第47週	1	2	33	191	33	18	4	13	2	-	3	-	28	4	-	4	1	-	3	-	-
		第48週	-	-	29	166	38	8	6	21	3	-	4	-	17	9	-	6	-	-	3	-	-
		第49週	2	1	40	281	52	9	6	19	4	-	-	-	37	27	-	5	-	1	5	-	-
		第50週	1	10	28	347	55	6	3	20	3	-	2	-	27	31	-	3	-	-	5	-	-
		第51週	2	5	34	410	101	8	2	21	5	-	1	-	33	34	-	8	-	-	5	-	-
定点当り	広島市	第47週	0.03	0.08	1.38	7.96	1.38	0.75	0.17	0.54	0.08	-	0.13	-	1.17	0.17	-	0.50	0.14	-	0.43	-	-
		第48週	-	-	1.26	7.22	1.65	0.35	0.26	0.91	0.13	-	0.17	-	0.74	0.39	-	0.75	-	-	0.43	-	-
		第49週	0.05	0.04	1.67	11.71	2.17	0.38	0.25	0.79	0.17	-	-	-	1.54	1.13	-	0.63	-	0.14	0.71	-	-
		第50週	0.03	0.42	1.17	14.46	2.29	0.25	0.13	0.83	0.13	-	0.08	-	1.13	1.29	-	0.38	-	-	0.71	-	-
		第51週	0.05	0.21	1.42	17.08	4.21	0.33	0.08	0.88	0.21	-	0.04	-	1.38	1.42	-	1.00	-	-	0.71	-	-
	全国	第49週	0.16	0.24	1.42	8.69	1.83	0.74	0.18	0.70	0.02	-	0.08	-	1.16	0.01	0.62	0.02	0.04	0.39	0.01	-	-
		第50週	0.24	0.27	1.58	12.14	1.84	0.67	0.18	0.65	0.02	0.01	0.06	-	1.17	0.02	0.67	0.02	0.02	0.45	0.02	-	-

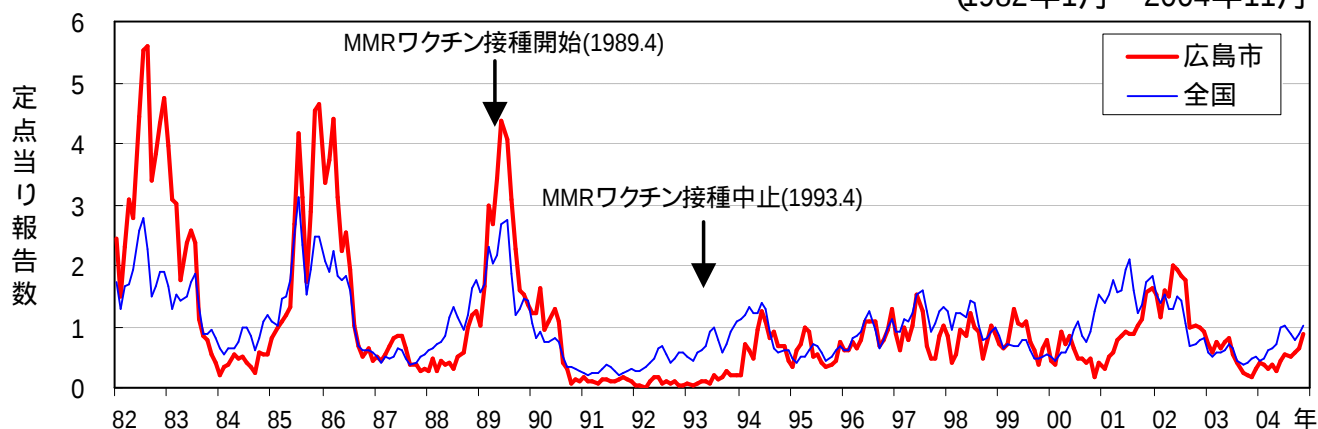
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ(疑)	12	男	2004/11/10	咽頭拭い液	パラインフルエンザ2型

【参考】広島市における流行性耳下腺炎の月別定点当り報告数(1週当り平均)の推移

(1982年1月～2004年11月)



流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、ムンプスウイルスを病原体とする感染症で、耳の下のあたりが腫れて痛くなるのが特徴です。

流行性耳下腺炎は、3～4年の周期で流行を繰り返していましたが、1989年にMMRワクチン接種が導入されてから減少し低い流行状況になりました。しかし、1993年にMMRワクチン接種が中止されてから増減を繰り返しながら緩やかに増加する傾向にあります。

最近の広島市では2002年の前半を中心に流行がみられ、その後は減少する傾向にありましたが、2004年の夏以降やや増加する傾向にあり、今後の動向に注意する必要があります。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2004年第51週(12月13日～12月19日)